

言語学研究(副専攻)で卒業論文・卒業研究を作成予定の方は、学事での登録手続きに加えて「卒業論文・卒業研究計画書」の提出が必要です。下記の要領をよく読んで、必要な手続きを完了して下さい。

1. 卒業論文・卒業研究登録について

- (1) 卒業論文・卒業研究の提出希望者は、在学最終年度の学事センター履修登録期間内に言語学研究専門分野(副専攻)の「卒業論文・卒業研究Ⅰ・Ⅱ」を登録すること。

LOYOLA 春学期登録期間: 「卒業論文・卒業研究Ⅰ」(3単位)(FLG90110)

LOYOLA 秋学期登録期間: 「卒業論文・卒業研究Ⅱ」(3単位)(FLG90140)

- (2) 卒論指導教員の所属に関わらず、上記の言語学研究(副専攻)の「卒業論文・卒業研究Ⅰ・Ⅱ」を履修すること。

言語学研究専門分野(副専攻)以外の卒業論文・卒業研究は言語学研究専門分野(副専攻)の履修証明取得に必要な「卒業論文・卒業研究」として認められないので注意すること。

- (3) 外国語学部生は専門分野の届出が「言語学研究」であること。

- (4) 最終年度の期間中に留学・休学などから戻り、当該学期末での卒業を希望する場合

「卒業論文・卒業研究Ⅰ及びⅡの同時履修願」を提出し、その上で帰国後の秋学期に「卒業論文・卒業研究Ⅰ」(FLG90120)・「卒業論文・卒業研究Ⅱ」(FLG90140)を履修登録すること。「卒業論文・卒業研究Ⅱ」(FLG90140)はLoyolaから登録できません。「卒業論文・卒業研究Ⅰ及びⅡの同時履修願」のコピーを持参の上、履修登録期間内に学事センターで登録の手続きをすること。

- (5) 最終年度の春学期に留学・休学などから戻り、9月に卒業を希望する場合

→個別に対応します。履修登録前に言語学研究(副専攻)担当事務に申し出てください。

2. 「卒業論文・卒業研究作成届」について

「卒業論文・卒業研究作成届」は主査・副査の先生と相談の上、2通(同じもの)を作成し、下記要領で提出すること。

用紙配布: 外国語学部事務室(2号館830室)およびLoyola掲示板(学科・専攻別)

提出場所: ①「言語学研究(副専攻)」宛 → 外国語学部事務室(2号館830室)言語学研究(副専攻)担当事務

②「主査教授」宛 → 各主査教授へ直接提出

提出期日: 2017年4月28日(金)14:00 ※留学帰国者は帰国後速やかにご提出下さい。

3. 「卒業論文・卒業研究作成届」記入要領

題目・内容: 主査(副査)教授と相談の上で記入する。提出後に題目・内容を変更してもかまいません。

署名捺印: ①・②とも主査・副査、両先生の署名捺印を必ずもらってください。

主査の先生に相談の上で副査をお願いする先生を決め、ご自身で承諾をいただいでください。

4. 卒業論文の提出・規格について

提出部数: 2部(正本1部・副本1部)

提出期間: 2017年12月4日(月)~12月8日(金) 締切日 17:00 厳守のこと

提出場所: 正本 ⇒ 学事センター教務外国語学部窓口(2号館1F)

副本 ⇒ 言語学研究(副専攻)事務室(2-830)

規格: A4版、縦書・横書 どちらでも可

綴じ方: 製本(簡易製本可) ※正・副本ともに製本のこと ※図書館5Fオーエーリックスで簡易製本ができます。

その他: 原則としてワープロで作成 指導教員と相談の上日本語以外での執筆も可

枚数・文字数についての指定はない 指導教員と相談しながら進めること

*卒業論文は返却しません。

*履修証明の申請は別途手続きが必要です。詳細は11月中旬ごろ外国語学部長室からLoyola(学科・専攻)に掲載します

言語学研究専門分野
卒業論文・卒業研究 作成届

学生番号 _____ 氏名 _____

連絡先（電話） _____ （メール） _____

Loyola での履修登録（登録済みの場合 して下さい） : _____

1. 専門分野 _____

2. 題目 _____

3. 要旨

4. 指導教員

主査 _____ 印

副査 _____ 印

*卒業論文・卒業研究の指導教員は主査と主査の指名する副査の2人による。

なお、期日までに論文・研究を提出しない時は、卒業論文・卒業研究単位を取得し得ないことに異議ありません。

年 月 日

氏名 _____ 印 _____